

琴芝校区地域づくり計画

わがまち琴芝

～琴芝のよさや課題を発見し、

これからのまちづくりを考える～



平成28年12月

琴芝校区「地域づくり」検討会

(琴芝校区コミュニティ推進協議会)

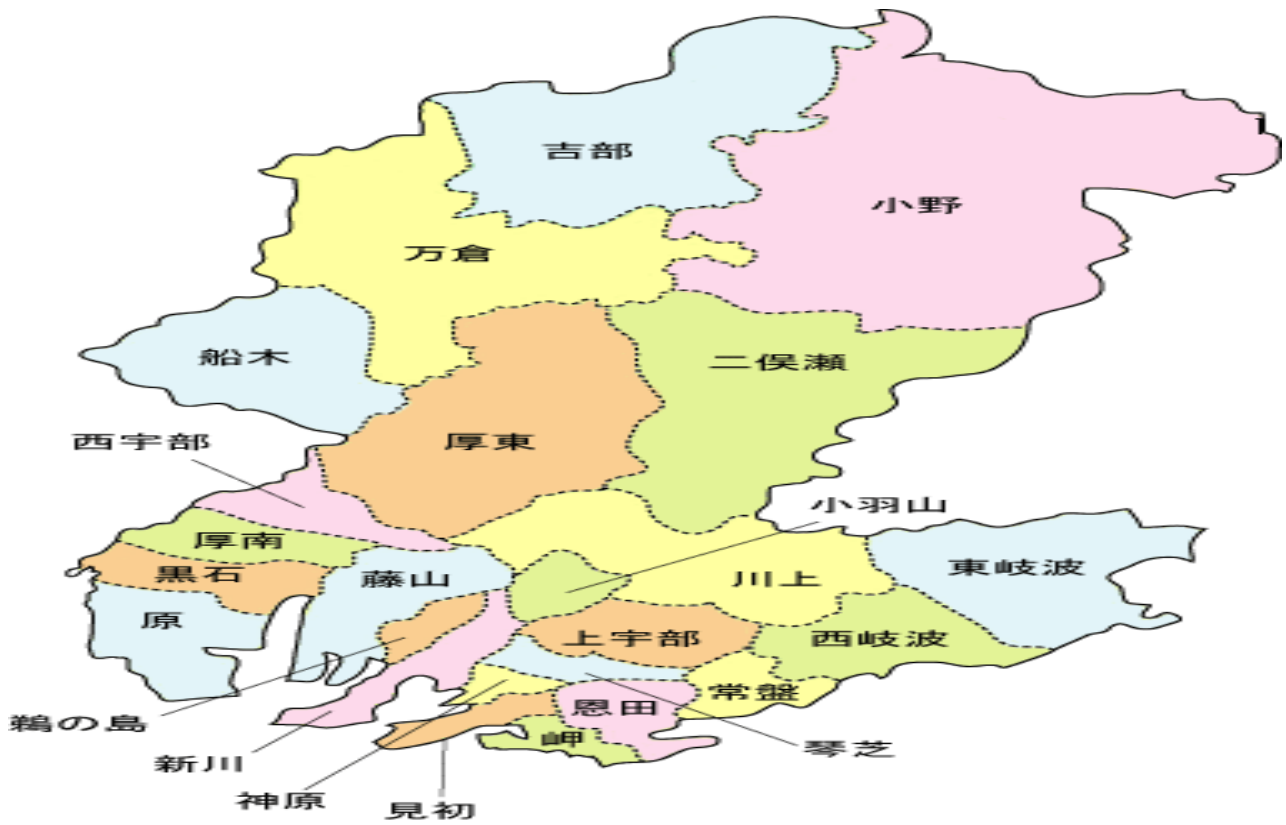
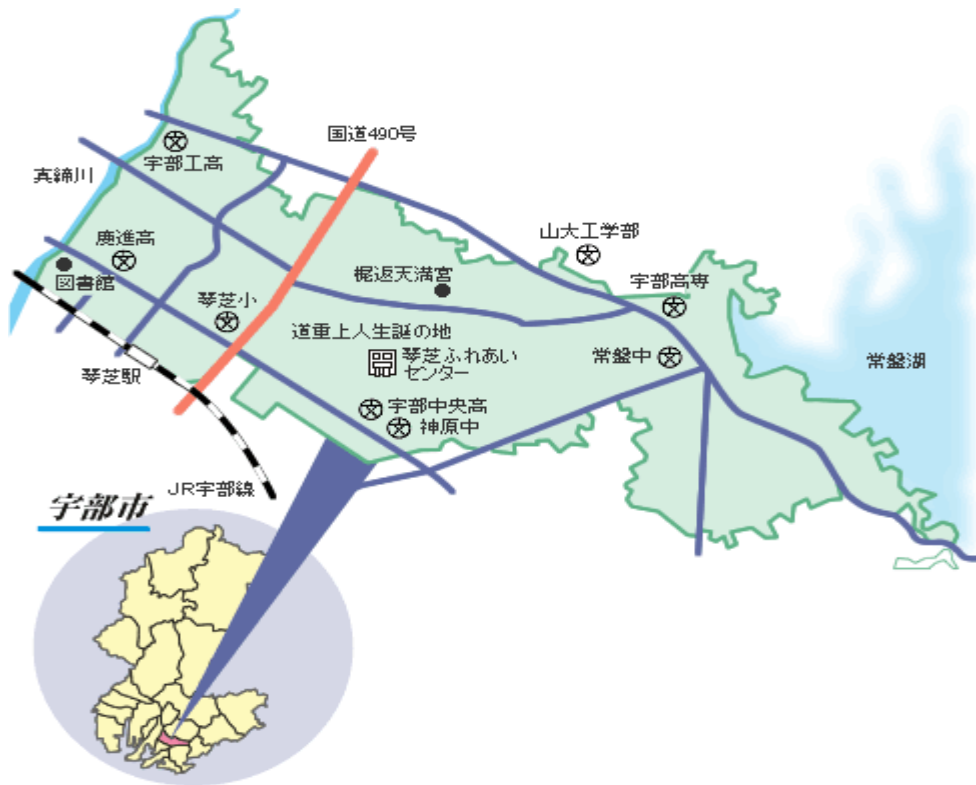
琴芝校区地域づくり計画 目次

1	琴芝校区の現況と課題・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	琴芝校区が目指す将来像・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3	今後の取り組みの方向・・・・・・・・・・・・・・・・	5
4	まちづくりの推進に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・	7



1 琴芝校区の現況と課題

■琴芝校区の概要



琴芝校区は昭和 41(1966)年 4 月に神原・上宇部校区から分割して設立しました。

南北約 1.2 km(琴小交差点～沼交差点)、東西約 2.7 km(真締川～ときわ公園)で、南北は短く、東西に長いと言われてます。校区の中央には国道 490 号(参宮通り)が南北に走っており、校区の面積は 3.21 km²です。

平成 28 年 4 月 1 日現在の琴芝校区の人口は 9,913 人、世帯数は 5,148 世帯で、それぞれ宇部市の 5.9%、6.5%を占めています。1 世帯当たりの平均世帯人員は 1.9 人で、高齢化率は 31.7%です。

全部で 50 の自治会区があり、人口最多の 1 区(908 人)から最小の 42-1 区(8 人)、年齢的には高齢化率が高い、3-6 区(56.7%)や 30-2 区(55.2%)等規模、性格の異なる自治会区が含まれています。

■人口と世帯数

琴芝校区	世帯	人口	年少	生産年齢	高齢者人口
			～14 歳以下	15～64 歳	65 歳以上
平成 18 年	5,334	10,896	1,263	7,051	2,582
平成 23 年	5,266	10,454	1,205	6,481	2,768
平成 28 年	5,148	9,913	1,106	5,664	3,143



■琴芝の宝

○利便性が高い

琴芝校区は市の中心部に位置しており、図書館・シルバーふれあいセンター等の官公庁機関があり、また、山口大学医学部附属病院等の医療施設も近くにあります。さらに、スーパーや商店街等の商業施設があり、生活の利便性に優れた環境です。交通条件は、JR宇部線の琴芝駅があり、幹線道路として東西に県道琴芝際波線（産業道路）・南北に国道490号線が縦断しており、交通の便が大変良い所です。

○自然にあふれた文教都市であり、名所・旧跡が多数

琴芝校区は、東端に常盤湖、西端に真締川と東西に長く、恩田、常盤、上宇部、神原、新川の5校区に隣接しています。教育機関では琴芝小をはじめ常盤中、神原中、宇部中央高、宇部工高、宇部高専、慶進中・高など多くの学校があります。さらに、ときわ公園、真締川公園が市民の憩いの場として、ウォーキングや散歩コースになっており、校区民の健康づくりの一翼を担っています。また、名所・旧跡では梶返天満宮、桃色煉瓦（宇部紡績跡）等多数存在しています。

○地域に住む人々のつながりを大切にし、様々な活動を展開

琴芝校区は、自分の住む地域に愛着を持ち、人と人のつながりを大切にする人が多く、「災害・犯罪のない住みよい街づくり」、「地域の子どもは地域で育てる」をモットーにしています。ふれあいセンターでのサークルに、小学生が参加する「夏休みお楽しみクラブ」は市内で最初に琴芝が取り組み、なくてはならない行事となっています。

○伝統的な行事・祭りの継承

琴芝校区では、「どんど焼き」、「運動会」、「納涼盆踊り大会」、「センターまつり」等の地域の行事や祭りが大切に継承され、ふるさとへの「郷土愛」を醸成しています。しかし、近年、これらの行事・祭りは、担い手不足や高齢化により、従来の開催・運営の継続が難しく、本来の意味合いや目的が失われつつあり、心に残る行事・祭りとして受け継いでいくことが課題となっています。

■琴芝の課題

○安心と安全の確保

琴芝校区は少子高齢化により、人との繋がりが希薄化しているとの懸念があります。今後は、地域として高齢者の生活支援や子育て支援に取り組み、お互いが支えあうことで、安心して暮らせるような地域にしていくことが課題となっています。

また、いつまでも元気に住み続けられるよう、地域活動の活性化に向け、地域で福祉の充実に取り組んでいくことが望まれます。

○防災意識、知識の向上

琴芝校区では平成7年9月に襲来した台風14号による大雨による洪水以来、防災に対する意識の高まりが感じられます。また、「元気な地域づくり！アンケート」調査でも「防災対策」が重要との回答がありました。

しかしながら、防災に対する備えは十分ではなく、安心・安全のための備えを家庭や自治会、地域で行っておく必要があります。

加えて、避難場所の確認や避難訓練、防災学習活動を計画的に実施していくことが重要です。

○健康づくりの推進

琴芝校区の平成28年4月1日現在の65歳以上の人口は、男性1,285人・女性1,858人の計3,143人です。高齢化率は31.7%で宇部市平均の30.8%に比べて、高い状況です。

そこで、高齢になっても生きいきとした生活を続けるために、校区民が自らの健康の維持・増進に関心を持ち、地域で個人の健康づくりをサポートすることが不可欠です。

○地域内の子どもの交流の促進

琴芝校区は平成20年度に学校選択制が導入され、1区、15区等の10自治会では、校区の居住地の学校と隣接校区の学校への通学が選択できるようになっています。年々、学校選択制を利用する子どもが増え、自治会内の子ども達の通学先が異なり、隣近所で子ども同士が遊べない状況が発生しています。

そこで、就学している学校にこだわらない地域内の子どもの交流及び琴芝小学校と他校との交流の促進が求められています。

2 琴芝校区が目指す将来像

自然と歴史と未来が ひびきあうまち「琴芝」

琴芝校区がめざす将来像は、琴芝の自然と歴史を再発見し、今あるいろいろな取り組みを将来につなげて、夢と希望を持てるようなまちづくりを目指します。

3 今後の取り組みの方向

将来像である「自然と歴史と未来がひびきあうまち 琴芝」を達成するために、4つの分野ごとに「将来像と基本方針」を掲げ、地域づくりに取り組んでいきます。

(1) 地域資源の活用分野

<将来像>

地域資源を有効に活用し、活力ある地域づくりをしよう！

琴芝校区の地域特性を活かし、つながりあい、活力ある元気なまちづくりを目指していきます。“自分のまちは自分たちで創る”という意識で取り組み、活力ある元気な琴芝校区を創造し、次世代に引き継ぐことが必要です。

- 基本方針
- ア 地域交流の推進
 - イ 地域ふるさと資源（名所・旧跡）の再認識

(2) 健康づくり分野

<将来像>

楽しみながら取り組める「健康づくり」を！

校区民一人ひとりが、自らの健康に関心を持ち、互いにコミュニケーションを図り、楽しみながらこころと身体の健康づくりに取り組める琴芝を目指していきます。

- 基本方針 ア 「健康づくり組織」の結成
イ 健康づくりの推進
ウ みんなで楽しみながら取り組める企画の実施

(3) 地域福祉分野

<将来像>

一人ひとりが自分らしく安心して暮せる地域社会

地域の生活課題に気付き、住民みんなで解決に向け協議することで、全ての校区民が自分らしくいきいきと生きていける琴芝を目指していきます。

- 基本方針 ア 地域で支え合う体制づくり
イ 交流の場と機会の提供
ウ 必要な人に必要な情報が届くしくみづくり
エ 防災意識の高揚

(4) 子どもの健全育成分野

<将来像>

ふるさとへの誇りと愛着を育み、住み続けたい地域に！

“地域の子どもは地域で育てる”という意識を高め、子どもの健全な成長を支えることで、ふるさとへの誇りと愛着を高め、若者がいきいきと活躍することを目指していきます。

- 基本方針 ア 地域と親子の交流の推進
イ 子どもたちが実感できる環境づくり
ウ 見守り体制の充実



4 まちづくりの推進に向けて

4つの分野別の将来像と基本方針に沿って、今後取り組むことを整理します。

(1) 地域資源の活用分野

ア 地域交流の推進

(ア) 内容

校区全体で世代間の交流を図り、あらゆる世代が協同する環境をつくることで、地域コミュニティ推進の原動力となるよう取り組みます。

また、校区の「運動会」、「納涼盆踊り大会」、「センターまつり」、「どんど焼き」等の行事や祭りが大切に継承されており、イベント参加者の増加を図ることで、地域の連携につなげていきます。

(イ) 主な取り組み

- a 三世代交流の推進
- b イベント参加者の増加の推進

(ウ) 主な取り組みの概要

- a 児童等を対象とした「たこあげ」等の昔あそびの体験と伝統継承を行うことで、校区民の親睦・交流を図ります。
- b 校区の「運動会」、「納涼盆踊り大会」、「センターまつり」、「どんど焼き」等の行事において、イベント参加者の増加を図ります。そのため、校区民の意見を聞く等して、誰もが参加しやすい魅力あるイベントを目指します。

(エ) 主体

- a コミュニティ推進協議会、文化体育委員協議会、子ども会育成連絡協議会
- b コミュニティ推進協議会、文化体育委員協議会、子ども会育成連絡協議会

イ 地域ふるさと資源（名所・旧跡）の再認識

(ア) 内容

琴芝校区は梶返天満宮、桃色煉瓦（宇部紡績跡）等の名所・旧跡が多数存在します。その歴史を訪ねることでふるさとの魅力を再発見し、「郷土愛」を醸成することで、琴芝に住んでよかったといえる地域づくりを目指します。

(イ) 主な取り組み

ウォーキングで史跡巡り

(ウ) 主な取り組みの概要

Let' エンジョイウォーキング等で、梶返天満宮、桃色煉瓦(宇部紡績跡)等の名所・旧跡を巡りながら、ふるさとを知る機会をつくれます。

(エ) 主体

コミュニティ推進協議会、文化体育委員協議会



(2) 健康づくり分野

ア 「健康づくり組織」の結成

(ア) 内容

地域の健康づくりを効果的に推進するためには、一人ひとりの努力はもとより、地域で個人の健康づくりをサポートする必要があります。そこで、新しい人材を発掘しながら、校区民の参加による新たな地域健康づくり組織を構築します。

(イ) 主な取り組み

「健康づくり琴芝」の設立

(ウ) 主な取り組みの概要

琴芝校区では、今まで地域で健康づくりについて考える機会が少なかったため、「健康づくり琴芝」を設立して、地域の年間行事の中で健康に関する意識啓発や知識の普及について考え、活動します。

(エ) 主体

住民

イ 健康づくりの推進

(ア) 内容

琴芝校区民の健康の保持・増進のために、地域が一体となって支えあう仕組みづくりを推進するため、既存の事業と連携しながら啓発を行い、健康づくりに対する意識を高めていきます。

(イ) 主な取り組み

校区民への健康づくりに関する情報提供や体験・展示等実施します。

(ウ) 主な取り組みの概要

4月に実施するLet'sエンジョイウォーキングと11月に実施するセンター祭り時に健康ブースを設けます。

(エ) 主体

健康づくり琴芝

ウ みんなで楽しみながら取り組める企画の実施

(ア) 内容

琴芝校区は、校区民が一緒になって健康づくりについて考える環境を目指しています。そのきっかけとして、楽しみながら正しい知識を身につけられる企画を継続して実施することにより、効果的な健康づくりをサポートします。

(イ) 主な取り組み

健康に着目した単独イベントの実施（年1回以上）

(ウ) 主な取り組みの概要

関心の高い健康づくりに関するテーマを取り上げ、校区民が正しい知識を身につけるためのイベントを開催します。

(エ) 主体

健康づくり琴芝



(3) 地域福祉分野

ア 地域で支え合う体制づくり

(ア) 内容

地域に住む高齢者等に対する理解を深め、地域住民自らが地域の問題を自分の問題として受けとめ、互いに連携し合い一体となって解決していくためのネットワークを地域で創り上げていきます。

(イ) 主な取り組み

- a 民生・児童委員、福祉委員の合同会議
- b 認知症に対する理解促進
- c 高齢者等への支援

(ウ) 主な取り組み概要

- a 地域のつながりの希薄化等による高齢者等の孤立や日常生活の不安をなくすため、見守り体制の強化事業として合同会議を開催します。
- b 私たちの一人ひとりが認知症に対する理解を深め、地域全体で支えあう意識を高めていくため、定期的に徘徊模擬訓練を実施します。
- c 高齢者の方がどのような支援を求めて居られるのか、地域でニーズ調査を実施したところ、買い物・通院・家屋周辺の片づけが上位を占めました。そこで、そのニーズに対応できる組織づくり(サポート会)の設立を検討していきます。

また、企業の高齢者支援に関する情報(送迎サービス等)も収集し、活用について検討していきます。

(エ) 主体

- a 民生委員・福祉委員
- b 校区社会福祉協議会
- c 校区社会福祉協議会

イ 交流の場と機会の提供

(ア) 内容

誰もが参加しやすく、交流できるような機会と場を提供します。また、高齢者の生きがいや仲間づくりを促す機会や場を提供します。

(イ) 主な取り組み

- a サロン等の交流の場の提供
- b 花見の会の実施

(ウ) 主な取り組みの概要

- a ひとり暮らしや家の中で過ごしがちな高齢者と地域住民(ボランティア等)が、自宅から歩いていける場所に気軽に集い、ふれあいを通して生きがいつくり・仲間づくりの輪を広げる活動の場を提供します。
- b 琴芝児童公園の桜木の下でお花見をし、子どもからお年寄りまで、たくさんの人が集いふれあって、地域住民同士の交流を促します。

(エ) 主体

- a 校区社会福祉協議会、地域自主組織
- b 民生・児童委員、福祉委員

ウ 必要な人に必要な情報が届くしくみづくり

(ア) 内容

高齢者の方が、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていただけるよう、地域住民に相談窓口を周知する必要があります。

(イ) 主な取り組み

相談窓口の一覧表の作成

(ウ) 主な取り組み概要

高齢者の生活を地域で支えるための取り組みとして、高齢者生活支援に必要な一覧表を作成して、校区内の高齢者に配布します。

(エ) 主体

校区社会福祉協議会

エ 防災意識の高揚

(ア) 内容

校区民一人ひとりが日頃から自主防災の意識を持ち、災害が発生した場合、的確に対処できるような基礎知識を身につけておくことが大切です。そこで、防災訓練や防災に関する知識の普及や意識の高揚、防災体制の強化に取り組みます。

(イ) 主な取り組み

校区防災訓練の開催

(ウ) 主な取り組みの概要

災害時の地域対応として自主防災の意識を高め、災害時の対応と対応を円滑にするための防災訓練を、年に1回実施します。

(エ) 主体

自主防災会

(4) 子どもの健全育成分野

ア 地域と親子の交流の推進

(ア) 内容

子どもの交流事業を推進するために、地域住民の世代間交流を図り、親睦を深めるとともに、地域の連帯感を醸成し、次世代育成支援の地域づくりを強化します。

この取り組みは、親にとっても、地域の様々な人と交流し、つながりを深める良い機会となります。

(イ) 主な取り組み

- a 自治会単位での親子の交流の推進
- b 子ども会の加入の促進
- c 行事名への配慮

(ウ) 主な取り組みの概要

- a 学校選択区域に指定されている自治会で、行事に琴芝小以外に通学している児童を招待し、自治会内における児童間の交流を図ります。この取り組みを、モデル自治会を決めて実施します。
- b 学校選択制を利用した子どもは、子ども会に加入していないのが現状です。そこで、校区に住む子は学校を問わず、琴芝子ども会に加入できるように、取り組みます。
- c 学校選択制を利用して他校区に就学している児童生徒及び保護者が各種行事に参加しやすいよう、行事名について配慮します。

(エ) 主体

自治会連合会、コミュニティ推進協議会、子ども会育成連絡協議会

イ 子どもたちが実感できる環境づくり

(ア) 内容

校区民一人ひとりの環境に配慮した生活や行動が求められています。そのため、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、自ら考え、行動する力を育成するための環境学習を実施します。

(イ) 主な取り組み

- a 水辺教室の実施
- b 塩田川の清掃

(ウ) 主な取り組みの概要

- a 子どもたちが校区に流れている塩田川で生物採取によるフィールドワーク、水質調査等を実施することで、身近な河川の現状を知り、水環境保全の大切さに気づくことを目的とします。

- b 現在、校区民の塩田川への関心は薄れ、空き缶、瓶、ペットボトル等のごみが散乱し、木、草等が茂っている現状です。そこで、校区民みんなが清掃することで川の美化と自然環境を維持します。また、「助け合い」の大切さを学ぶことを目的とします。

(エ) 主体

- a 環境衛生連合会、子ども会育成連絡協議会
- b 環境衛生連合会、子ども会育成連絡協議会

ウ 見守り体制の充実

(ア) 内容

子どもたちの安全を保護者は願っています。安心、安全なまちづくりを実現し、子どもたちの安全を守るためには、地域安全活動を積極的に実施することにより良好なコミュニティの形成を図り、地域ぐるみで子どもを犯罪被害から守ることが必要です。

(イ) 主な取り組み

街頭補導と啓発活動

(ウ) 主な取り組み概要

月に1回の校区内のスーパーマーケット・コンビニエンスストア・公園等の見守りを強化します。

また、登下校時等での見守り・あいさつ運動を実施します。

(エ) 主体

ふれあい運動推進委員会

